

日本慢性期医療協会

第6回医師のための排尿機能回復に向けた治療とケア講座

平成28年度診療報酬改定では、手術等医療技術の適切な評価の中で、下部尿路機能障害を有する患者に対するケアの評価として「排尿自立指導料」が新設されました。さらに、平成30年度の介護報酬改定では、「排せつ支援加算」が新設されるなど、高齢者の自立に向けた排泄ケアがクローズアップされてまいりました。

令和2年度の診療報酬改定では、排尿自立指導料が「排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料」として見直され、算定可能となる入院料の範囲が広がりました。これからの医療機関、あるいは介護施設や在宅療養の場において、すべての医師が排尿に関してある程度の知識や技能を持つことが求められる時代になっております。看護・介護・リハビリテーション等のスタッフが多職種チームとして排尿ケアを提供していくためには、泌尿器科医に限らず、医師として適切な指導ができるようになることが必要です。

本講座では、主に高齢者の尿路機能障害にポイントを絞り、病態や診断、治療、薬剤処方等の基本的な知識の習得から、実際の現場でチーム医療を行うための具体的な取り組みまで、1日の研修でオールマイティに学びます。事例演習方式での研修は、先生方の明日からの診療にきっとお役に立つことでしょう。

排泄の自立は、人としての尊厳を保つために最も回復が望まれる機能の一つです。多くの先生方が専門的な知識を習得すれば、一人でも多くの患者において排尿機能が回復すると信じています。奮ってご参加ください。

開催概要

【日 程】2021年9月25日(土) 9:50~17:30

【会 場】web 配信 (ZOOM ミーティング)

【定 員】医 師 250名

【参加費】会員 13,000円 非会員 26,000円

【申込締切】2021年8月6日(金) ※定員に達し次第受付を締め切りますのでご注意ください

【修了証】\*全講義を履修された方には日本慢性期医療協会より「排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料」該当研修の「修了証」を発行いたします。

\*本講座は「排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料」該当研修のため、遅刻・早退・中抜けのある場合は修了証を発行できません。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

【その他】\*連絡担当者宛に「参加証」、「参加費請求書」を8月下旬頃にお送りいたします。

【講 師】

中島耕一先生 東邦大学医療センター大森病院教授

西尾俊治先生 南高井病院院長・日本慢性期医療協会常任理事

【研修プログラム（予定）】

9月25日（土） 9：50～17：30	
9：50～10：00	開講挨拶
10：00～11：30	尿路機能障害の病態と診断（中島耕一先生）
11：30～12：30	昼食休憩
12：30～14：00	尿路機能障害の治療と予防（中島耕一先生）
14：10～15：40	尿道留置カテーテルの抜去に向けた取組み（西尾俊治先生）
15：50～17：30	排尿ケアチームの役割と排尿自立に向けた実践例（西尾俊治先生）